

平成28年1月25日

教育委員会第1回定例会記録

石巻市教育委員会

教育委員会第1回定例会記録

◇開会年月日 平成28年1月25日（月曜日）午後 1時27分開会
午後 2時12分閉会

◇開催の場所 庁議室

◇出席委員 5名

委員 長 阿部 邦英 君 委員 今井 多貴子 君 教育 長 境 直彦 君	委員 (委員長職務代行者) 津嶋 ユウ 君 委員 窪木 好文 君
--	--

◇欠席委員 なし

◇説明のため出席した者の職氏名

事務局 長 草刈 敏雄 君 事務局次長 (震災復興担当) 太田 敏彦 君 学校教育課 長 今泉 良正 君 学校管理課 長 三浦 司 君 複合文化施設 開設準備室 室長補佐兼 生涯学習課主幹 山下 浩志 君 体育振興課 長 佐藤 敏彦 君	事務局次長 末永 秀夫 君 教育総務課 長 佐々木 貞義 君 学校安全課 推進課 長 伊藤 雄 君 生涯学習課 複合文化施設 開設準備室主幹 佐藤 久美子 君 複合文化施設 開設準備室 生涯学習 事業推進課 官 新藤 喜悦 君 学校施設 整備室 長 高橋 正能 君
---	---

◇書記

教育総務課 課長補佐 石井 透公 君 教育総務 課長 熱海 照郎 君	教育総務課 課長 加藤 陽子 君
---	---------------------

◇付議事件

一般事務報告

- ・教育長報告
- ・平成27年度教育費に係る補正予算要求について

報告事項

報告第1号 専決処分の報告について

専決第1号 平成29年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程について

審議事項

第1号議案 雄勝小学校及び大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の統合に伴う新設校の校名について

第2号議案 石巻市複合文化施設整備基本計画案について

その他

午後 1時27分開会

○委員長（阿部邦英君） それでは、おそろいですので始めたいと思います。

皆さん、こんにちは。

ただいまから平成28年第1回定例会を開会いたします。

本日の会議ですが、欠席委員はございません。

会議録署名委員の指名

○委員長（阿部邦英君） それでは、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、今井委員にお願いします。よろしく願いいたします。

教育長報告

○委員長（阿部邦英君） 本日の案件に入ります。

本日の案件は、一般事務報告が2件、報告事項の専決処分の報告が1件、審議事項が2件及びその他となっております。

それでは、一般事務報告に入ります。

教育長報告について、教育長から報告をお願いいたします。

○教育長（境 直彦君） それでは、私から報告いたします。

学校の様子ですが、1月8日に第3学期の始業式を行っております。暖冬の影響でインフルエンザ等の流行も少なかったわけですが、先週から学級閉鎖される小学校が出てまいりました。なお一層、予防対策を講じるよう指示しているところであります。

今日は、平成28年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る予備調査並びに前期選抜について、市議会関係、大川小学校関係の3点について報告いたします。

始めに、平成28年度公立高等学校入学者選抜に係る第2回予備調査及び前期選抜についてです。宮城県全体では1.16倍となり、前年度より0.02上回りました。しかし、石巻地区では募集定員1,640名に対しまして1,534名の志願者で0.94倍となり、昨年度より0.08下回っております。石巻市立桜坂高等学校は、学励探究コースが0.52倍、キャリア探究コースが0.90倍となり、定員を下回ってしまいました。前期選抜についてですが、来月、2月3日に各学校で検査が行われます。桜坂高校は、学励探究コースが募集人数48人に対して54人で1.13倍、キャリア探究コースが募集人数32人に対しまして53人で1.66倍と高くなっております。

なお、前期選抜の合格発表が2月12日、後期選抜の検査日は3月9日となっております。

次に、石巻市議会平成28年第1回定例会は2月16日開会予定で、3月16日までの予定となっております。

次に、大川小学校の訴訟関係ですが、先週22日に第6回口頭弁論があり、今後の予定が決定しております。4月8日と21日に証人尋問を行うこととなりました。4月8日は、大川小学校の前校長と現校長の2人で、4月21日は子供を迎えに行った母親と、それから広報車で釜谷周辺を回った市の職員、それから原告の児童遺族の3人となっております。

以上で報告を終わります。

○委員長（阿部邦英君） ただいまの報告に対して、ご質問等ございましたらお願いします。ございませんか。

（「はい」との声あり）

平成27年度教育費に係る補正予算要求について

○委員長（阿部邦英君） なければ、次に、平成27年度教育費に係る補正予算要求について、教育総務課長から報告をお願いいたします。

○教育総務課長（佐々木貞義君） それでは、平成27年度教育費に係る補正予算要求についてご説明申し上げます。

表紙番号2、一般事務報告資料の1ページから9ページまでをご覧ください。

本報告につきましては、平成28年石巻市議会第1回定例会に提案するため、現在、事務局で編成作業を行っている教育費関連の予算要求について報告するものでございます。

それでは、主な内容についてご説明いたします。

始めに歳入につきましては、1ページから3ページまで31件計上しております。そのほとんどが国・県支出金、負担金及び諸収入等の確定や決算見込みに伴う予算の整理を計上したものでございますので、そのほかの内容についてご説明を申し上げます。

1ページをご覧ください。

番号2、特別支援教育共同実習所運営費他市町負担金については、当初見込んでいなかった女川町からの通所者1名を4月から受け入れているため、女川町の負担金を計上するものであります。

次に、3ページをご覧ください。

番号23、県教育委員会文化財保護経由処理交付金については、県のは場整備事業実施に伴い、

鷲の巢遺跡発掘調査に係る県交付金を要求するものであります。

番号25、奨学資金費寄附金並びに番号26、災害復旧費寄附金（教育委員会分）では、各事業に対して寄せられた寄附金を要求しております。

次に、歳出につきましてご説明いたしますので、4ページから7ページをご覧ください。

38件計上しております。そのほとんどが事業の完了や執行残額の決算見込みに伴う予算の整理を計上したものでございますので、そのほかの内容についてご説明申し上げます。

番号5、奨学資金基金費では、震災奨学金に対して寄せられた寄附金を基金に積み立てるための経費を要求しております。

次に、7ページをご覧ください。

番号32、文化財保護管理費では、歳入でご説明申し上げました鷲の巢遺跡発掘調査に係る経費を要求しております。

次に番号33、震災文化財等保護管理費については、旧観慶丸商店修復工事に係る工事監理業務を実施するため、工事請負費から委託料に予算をつけかえるものであります。

次に番号37、学校給食センター建設事業費では、（仮称）石巻東学校給食センターの消耗品及び備品を購入するに当たり、予算に不足が生じるため所要額を要求しております。

次に、継続費についてご説明いたしますので、8ページをご覧ください。

継続費の変更につきましては5件計上しておりますが、各事業とも国庫支出金や東日本大震災復興交付金の確定に伴う事業費の変更であり、継続費総額及び年割額の補正を要求するものであります。

次に、繰越明許費についてご説明いたしますので、9ページをご覧ください。

各事業において工事の変更や追加等が生じ、事業実施のスケジュール上、年度内に完了しないため9件の繰越明許費を設定するものであります。

次に、債務負担行為についてご説明いたします。

番号1、奨学金管理システム保守点検業務については、平成28年度から4年間の委託業務を年度当初より直ちに実施するため、平成27年度中に契約手続を行うことから債務負担行為を設定するものであります。

以上が今回の要求の概要となりますが、要求内容及び要求額につきましては現時点での内容であり、今後編成作業の過程で変更となる可能性がございますのでご了承願います。

以上で一般事務報告を終わります。

○委員長（阿部邦英君） ただいまの報告に対して、ご質問等ありましたらお願いいたします。

ございませんか。

(「はい」との声あり)

報告第1号 専決処分の報告について

○委員長（阿部邦英君） それでは次に、報告事項に入ります。

報告第1号 専決処分の報告についての専決第1号 平成29年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程について報告を受けたいと思います。

学校教育課長さんから説明をお願いいたします。

○学校教育課長（今泉良正君） それでは、報告第1号 専決処分の報告についての専決第1号 平成29年度石巻市立高等学校入学者選抜方針及び日程についてご説明いたしますので、表紙番号1の1ページから4ページをご覧ください。

教育委員会教育長事務委任等に関する規則第4条第1項第14号の規定により平成27年12月28日付けで専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定によりご報告するものでございます。

それでは、3ページから4ページの平成29年度石巻市立高等学校入学者選抜日程と、平成29年度石巻市立高等学校入学者選抜方針をご覧ください。

石巻市立高等学校入学者選抜は、宮城県立高等学校、仙台市立高等学校とともに宮城県公立高等学校入学者選抜として行っておりますが、平成29年度宮城県立高等学校入学者選抜方針及び日程について、平成27年12月21日付けで宮城県教育委員会教育長から依頼がありました。石巻市立高等学校入学者選抜は、宮城県立高等学校入学者選抜及び仙台市立高等学校入学者選抜と同一要項、同一問題で実施しており、出題方針や選抜方法も同一であることから、宮城県立高等学校及び仙台市立高等学校と同じ選抜方針及び日程となりますので、ご報告申し上げます。

なお、石巻市立高等学校入学者選抜方針につきましては、石巻市立高等学校で行っていない連携型入試、学校独自検査の実技、社会人特別選抜、通信制課程に関する選抜などの記載を外しましたことを申し上げます。

以上でご報告を終わります。

○委員長（阿部邦英君） ただいまの説明に対して、ご質疑等ございましたらお願いいたします。ございませんか。

(「はい」との声あり)

第1号議案 雄勝小学校及び大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の統合に伴う新設校の校名について

○委員長（阿部邦英君） なければ、次に審議事項に入ります。

第1号議案 雄勝小学校及び大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の統合に伴う新設校の校名についてを議題といたします。

教育総務課長から説明をお願いいたします。

○教育総務課長（佐々木貞義君） それでは、雄勝小学校及び大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の統合に伴う新設校の校名についてご説明申し上げます。

表紙番号1の5ページから7ページまでをご覧ください。

雄勝小学校及び大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の4校につきましては、平成24年2月に雄勝地区統合小中学校の早期建設整備についての要望書が雄勝地区父母教師会連合会、雄勝地区会長会及び雄勝地区震災復興まちづくり協議会から提出されまして、雄勝地区の小中学校統合による1校併設校として早期整備を図るよう要望がありました。これを受けまして同年3月に石巻市立学校施設災害復旧整備計画を策定し、雄勝地区の住環境の整備とあわせ、雄勝地区の中間点であります大浜地区に1校併設校として移転新築することで決定しております。現在は、平成29年4月の開校に向け新設校の学校経営、生徒指導、教育課程編成等について4校の教職員とPTA会長等で組織する雄勝地区学校統合準備委員会及び部会において協議を進めているところでございます。

新設校の校名につきましては、平成27年11月6日から12月24日までの期間におきまして、雄勝地区学校統合準備委員会及び部会が、雄勝地区の諸団体の代表者で組織する雄勝地区まちづくり委員会の方々と検討及び話し合いを持ちながら意見を集約した結果、雄勝町にある唯一の小中学校であること、雄勝という名称は知名度が高いため他地域の人たちにもわかりやすいということから、雄勝の地名を用いた石巻市立雄勝小学校、石巻市立雄勝中学校とするということで、雄勝地区学校統合準備委員会から提案されました。本日の委員会におきましては、これらを踏まえまして新設校の校名決定についてご審議いただくものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（阿部邦英君） ただいまの説明に対して、ご質疑等ございましたらお願いいたします。

津嶋委員お願いします。

○委員（津嶋ユウ君） 質問ですが、参考までに教えてください。

今回の校名決定については、公募などはなかったようですね。団体と個人で校名案を検討したということですが、この個人というのは委員の方たちだと思います。その際に何回か話し合った結果でこの校名が出てきたと思うのですが、参考までにですが、ほかにどういう校名が挙がっていたのか、幾つぐらいあったのかについて教えていただけたらと思います。

○委員長（阿部邦英君） 教育総務課長、お願いします。

○教育総務課長（佐々木貞義君） 校名案につきましては、先ほど申し上げましたとおり統合準備委員会を設置いたしまして、またその下部組織、部会を立ち上げまして、校歌・校章制定部会のほうで検討をしていただきまして、この中では、その組織の部会には学校の先生方、各学校から4人の先生方、またPTAのほうから4名、それぞれの学校から4名と、先ほど申しました雄勝地区のまちづくり委員会のほうからも4名の方に入らせていただきまして、その部会の中でまずもって検討していただきました。その話し合いの中では、それぞれ各学校、またまちづくり委員会、組織の中で持ち帰ってそれぞれでまず校名を提案というか、案を出していただきました。その中で案が出たのは、雄勝小学校、雄勝中学校しか案が出てこなかったということで、その他の校名については部会の中には出てこなかったということでございます。その部会の案を受けまして準備委員会のほうに上げまして、準備委員会でも雄勝小学校、雄勝中学校ということに案として決定したということでございます。

（「はい、わかりました」との声あり）

○委員長（阿部邦英君） そのほかございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君） ないようでしたら、第1号議案 雄勝小学校及び大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の統合に伴う新設校の校名については、原案のとおり決することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部邦英君） それでは、異議がありませんので第1号議案については原案のとおり可決いたします。

第2号議案 石巻市複合文化施設整備基本計画案について

○委員長（阿部邦英君） 次に、第2号議案 石巻市複合文化施設整備基本計画案についてを議題といたします。

複合文化施設開設準備室長補佐から、説明をお願いします。

○複合文化施設開設準備室室長補佐兼生涯学習課主幹（山下浩志君） それでは、石巻市複合文化施設整備基本計画案についてご説明させていただきます。

お手元のほうに整備基本計画案と、ダイジェストということで書いてある2部がございますと思いますが、ダイジェスト版のほうでご説明させていただきます。

まず、1ページ目をお開きください。

1ページ目が建設場所でございます。前に建設場所のほうでご説明いたしましたが、石巻市トゥモロービジネスタウン内ということで、住所で言いますと石巻市開成1番地8、73、74、75でございます。

2ページ目を開いていただきますと大きい地図になっておりまして、総合運動公園のちょうど向かいということになっております。

続きまして3ページ目、施設機能でございますが、大ホールは、クラシックやポピュラー音楽、ミュージカル、演劇等の舞台芸術に加え、講演会、各種大会、式典等に対応できる多目的・多機能型ホールといたします。音響反射板等の設置、また格納時ともに演目に合わせて最適な残響時間を確保したいと考えております。

客席使用でございますが、客席は固定席で1,300席程度、車椅子席8席、親子席が4席、防音個室を設置いたします。防音個室でございますが、親子連れのお父さんお母さん方が部屋の中に入って子供たちの声が客席に聞こえないような個室でございます。舞台の音はスピーカーから流れて聞けるということでございます。客席配置ですが千鳥配置といたしまして、席が互い違いに、前の席と席の間から見られるような千鳥配置といたしまして、座席幅は500ミリ、前後間隔は950ミリ以上を確保したいと思っております。前の市民会館の座席より幅で50ミリ、前後間隔で大体50ミリほど大きくなっております。

また、花道でございますが仮設でスイッチできるような構造といたしたいと思っておりますが、座席を外して付けるのか、またそのまま付けるのかというのは、一応設計段階で考えていきたいと思っております。また、オーケストラピットについては、舞台の前の前方の客席を外してオーケストラピットのスペースを設けるような形にしたいと考えております。

舞台仕様でございますが、可動プロセニウム形式といたしまして、舞台の間口が大体18メートル、約10間、高さが9メートルから12メートル、奥行きが18メートルを確保したいと考えております。

舞台機構でございますが、舞台中央後方にせりを設けたいと考えております。大きさとい

しましては、3.6メートル掛ける1.8メートル程度と考えております。

それでは、4ページ目を開いていただきたいと思います。

パブリックトイレでございますが、効率的な入れ替えが可能な施設といたします。女性用を多数配置し、混雑の緩和を図ります。効率的な入れ替えと申しますのは、入り口・出口を一方通行という形で入り口から入って出口のほうから出るということで、入り口の混雑を緩和するというようなことを考えております。

続きまして、5ページをご覧ください。

小ホールでございますが、大ホール同様に演目に合わせた最適な残響時間を確保したいと考えております。客席仕様でございますが、客席は移動観覧席で300席程度、車椅子席4席、親子席4席で、客席配置でございますが、これも大ホールと同じように千鳥配置で、座席幅500ミリ、前後間隔が950ミリ以上ということでございます。また、舞台の前面を客席レベルまで下げまして、そこに大体100席程度のスタッキングチェアを置いて、400人程度が入れるような構造としたいと思います。そのスタッキングチェアですが、そのままだと動いてしまいますので、それを固定できるようにしたいと考えております。

続きまして、6ページをご覧ください。

ホール共用バックヤードでございますが、搬入口については、11トントラック2台を同時に着け、物品の搬入、搬出が可能なスペースとして考えております。かなり舞台とかそういう形で物品の搬入が多くなると思いますので、11トントラックが2台着けられるような、これもかなりのスペースをとりますが、これも設計の段階でこういう形にしたほうがいいのかということを考えていきたいと思っております。

7ページ、生涯学習のほうでございますが、生涯学習では市民ギャラリー、研修室、練習室、創作室となります。創作室のほうは文化センターのほうでも陶芸等、絵画等の創作室を設けてありましたので、ここでも設けたいと考えております。ホール、生涯学習の共用部分でございますが、これは未就学児童に広く開放できるキッズスペースを確保したいと考えております。これはどういうものかといいますと、ふだんは未就学の子供さんやお母さん方に利用いただいて、例えばホールで催し物や事業があるときは、ボランティアさん等によって託児ができるような、そういうスペースを考えております。

続きまして8ページ、博物館機能でございます。

博物館機能でございますが、展示のほうで石巻の歴史・文化を最も象徴的に表す「大河と海上の道」、石巻出身の彫刻家、高橋英吉の作品と生涯をたどる「高橋英吉コーナー」、豊富で

多彩な資料を体感できる「毛利コレクションミュージアム」、石巻人の多様性を紹介する「先人展示」ということで、常設展示を考えております。また、これにあわせて企画展示のほうも考えております。また、この展示に関しては28年度で展示基本計画等を策定していくということで考えております。

9ページ、共用、管理、その他の機能でございますが、この中でカフェでございますが、この施設の利用者だけでなく周辺地域の住民が軽食等、飲み物等がとれる気軽に立ち寄れるスペースということで、カフェを設置したいと考えております。

その次の管理・その他、屋外についてでございますが、駐車場は総合運動公園駐車場との相互利用に配慮いたしまして、常設で平面駐車場を400台程度と考えております。災害時等には、またその敷地内で最大500台程度を駐車できる敷地を確保したいということで計画しております。

次の10ページでございます。

建設規模でございますが、前に作成した基本構想の面積より、基本計画では座席数の見直しやホール、生涯学習機能部分の面積が減ったこと、また共用・管理・その他の機能も減っておりますので、延べ床面積が1万3,650平米から1万3,280平米ということで、若干減ってきております。また、設計段階で多少の増減が出てくると思われれます。

11ページから14ページまでは、今、説明いたしました内容を表で表したものでございます。

15ページ、事業手法でございますが、建設手法につきましては直営方式、PFI方式、リース方式ということでございますが、財源と災害復旧の視点から深く検討した結果、建設手法は直営方式としたいと思っております。また、運営手法につきましても、指定管理者制度を導入したいと考えております。ただし、博物館部門につきましては、管理・運営の継続性、調査・研究成果の蓄積の重要性などを考慮いたしまして、直営方式も検討したいと考えております。

16ページでございます。

運営計画でございますが、これにつきましても建物の設計を進めていく中で、並行してどのような形態であれば継続的な運営が可能か、運営主体や運営組織、運営方法等を運営計画として広く市民の意見を聞き、まとめていきたいと思っております。

例えば、市民参加のワークショップを開くことなどを考えております。

17ページ、事業費及び財源でございます。

事業費でございますが、概算で約100億円と試算しております。しかしながら、今後設計段階で詳細な事業費を積算することとなりますので、あくまでも概算事業費ということでござい

ます。財源につきましては、災害復旧補助金、震災復興特別交付税、合併特例債、復興交付金、市民文化ホール建設基金等を活用していきたいと考えております。

最後に18ページでございますが、今後の事業スケジュールでございますが、平成28年度、設計者の選定をいたしまして、基本設計、実施設計等に入っていきます。また、展示のほうも展示構想、計画、基本設計、実施設計を行いまして、大体平成29年度には設計を終わらせたいと考えております。工事については、平成30年度後半から工事が終わるのが大体平成32年度の12月ごろを考えております。開館については、平成32年度末ということで考えております。ただし、博物館の展示については、展示工事が建物が竣工してからでないと入れませんので、それで約3か月ぐらいかかります。そのようなわけで、事業スケジュールの下の部分にも書いてありますが、施設一部先行開館、ホールのほうが先行して開館するような形になるのではないかと考えております。

お配りしたA4版の資料「平成27年度基本計画策定スケジュール」が、今年度、これからのスケジュールになります。この中の教育委員会の欄の中の「基本計画（案）審議」が1月25日、本日でございますが、この後2月12日の庁議、2月16日の議会説明、また、議会説明の終了後にパブリックコメントを実施いたしまして、その後に正式に基本計画の策定ということになります。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○委員長（阿部邦英君） ただいまの説明に対して、ご質疑等ございましたらお願いいたします。

今井委員お願いします。

○委員（今井多貴子君） 9ページの共用というところに、施設利用者が使うトイレ、エレベーターとあるのですが、これ1階の略図になって、構造図になっていますけれども、2階に何かを設置する予定はあるのですか。

○委員長（阿部邦英君） 室長補佐、お願いします。

○複合文化施設開設準備室室長補佐兼生涯学習課主幹（山下浩志君） 10ページのイメージ図だと思うのですが、これはあくまでも設計とかそういうものではなく、こういう形になりますという、あくまでもイメージ図でございます。2階とか3階とかではなくて、あくまでもイメージということです。

○委員（今井多貴子君） ということは、もちろん2階づくりとか何階になるかわからないということですね。

○複合文化施設開設準備室室長補佐兼生涯学習課主幹（山下浩志君）　そうですね、それはあくまでも今度は設計の段階で出てくることになります。

○委員（今井多貴子君）　ではまだそこまで何も行っていないということで、イメージということですね。わかりました、ありがとうございます。

○委員長（阿部邦英君）　ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君）　では、ないようでしたら、第2号議案　石巻市複合文化施設整備基本計画（案）については原案のとおり決することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部邦英君）　それでは異議がありませんので、第2号議案については原案のとおり可決いたします。よろしく願いいたします。

その他

○委員長（阿部邦英君）　以上で審議事項を終了し、その他に入ります。

始めに、各委員から何かございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君）　各課長から何かありましたら。

今泉学校教育課長お願いします。

○学校教育課長（今泉良正君）　震災後、2011年より国府台病院において園児・児童・生徒の健康実態調査を毎年、行っていただいていた。今年度の結果が出ましたので、ご報告申し上げます。

カラーの資料のほうをご覧ください。

1ページ目です。全体的な傾向です。

右に行けば行くほどトラウマ症状が多い、高得点ほどトラウマ症状が出ているというものです。2011年から5年間のデータが色ごとに表されています。トラウマ症状が少ない子供たちの数は変化が少ないのですが、トラウマ症状が多い子供たちの数は減っており、時間とともによくなっているということがうかがえます。

次のページは、男女別のデータです。

国府台病院の先生によると、必ず女子のほうが高くなるということです。質問紙に対する回答ですので、国府台病院の先生のお話しすることによると、半袖、半ズボンの子供たちは余り

考えずに回答するのではないかと、その点、女子は深く思いをはせるということでしょうか。女子のほう必ず高くなるという傾向があるようです。その下に、男子・女子の学年ごとの結果がありますが、これは同一児童・生徒で比べているのではなく、あくまでもそのときの学年の子供たちの比較ですので、同一児童・生徒で統計的に比較すると余り変化が見られないということですが。

3ページから5ページにつきましては、朝食を食べる・食べない、平日と休日の睡眠時間の差の大小と、トラウマ症状についても調査しています。朝食を食べない児童・生徒、休日になると睡眠時間が多くなるといった児童・生徒のトラウマ症状が多いといった結果が出ております。

全体的には、トラウマ反応は終息方向にあります。ただ、規則正しい生活を送っている児童・生徒についてはトラウマ症状が少ないと、そういう結果が出ています。この結果については、各学校ごとに国府台病院の先生が説明を現在、行っております。学校ごとの傾向、また個人の推移についても詳しく説明がなされ、今後の指導に活かされるようになっております。

以上で報告のほうを終わらせていただきます。

○委員長（阿部邦英君） その他、各課長からございませんか。

○生涯学習課課長補佐兼複合文化施設開設準備室主幹（佐藤久美子君） 生涯学習課課長補佐の佐藤です。きょうは課長が所用のため欠席しておりますので、代理でご報告させていただきます。

生涯学習課からは、平成28年成人式の実施結果についてご報告いたします。

成人式開催の際は、教育長さんを初め委員の皆様、そして関係職員の皆様にお忙しい中ご出席をいただき、まことにありがとうございました。

それでは、配付しております資料をご覧いただきたいと思っております。

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを目的に成人式を実施いたしました。実施期日及び会場ですが、1月5日、2時から桃生地区を始めとし、10日、11時から河南、北上地区、2時から石巻、河北、雄勝、牡鹿地区の合計7地区を会場に実施いたしました。対象者は平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、平成27年12月1日現在で市内に住民登録をしている方です。対象者及び当日の出席状況ですが、対象者数は男性718名、女性715名、合計1,433名です。そのうち当日の出席者数は男性529名、女性537名、合計1,066名で、出席率は74.4%でした。石巻市外に住所を有する方が167名参加しておりますので、当日の参加者総数は1,233名となっております。

次のページをご覧ください。

牡鹿地区を除く6地区の成人が実行委員会を組織し、当日の受付、司会、アトラクション企画運営など多岐にわたり活躍しております。各地区のアトラクション等の実施状況の詳細については記載のとおりとなっております。地区ごとに誓いの言葉、恩師からのお祝いメッセージ、写真撮影などを実施しております。

以上で、報告を終わります。

○委員長（阿部邦英君） ほかに各課長からございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部邦英君） なければ、次回の定例会の日程等についてお願いいたします。

○事務局（石井透公君） 次回、2月の定例会につきましては、2月29日月曜日午後1時30分から開催する予定です。場所につきましては、市役所本庁舎4階庁議室で開催いたします。よろしく申し上げます。

○委員長（阿部邦英君） 2月の定例会についてお話しいたしました。

その他ありましたらお願いします。

（発言する者なし）

それでは、以上をもちまして、本日の定例会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

午後 2時12分閉会

教育委員長 阿 部 邦 英
署名委員 今 井 多 貴 子